

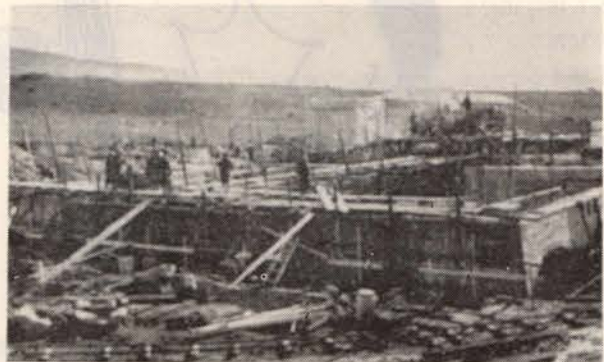


※文芸書○虚構の大義(五味川純平)○開(遠藤周作)○一・二・三(遠藤周作)○にっぽん退屈党(五木寛之)○マンボウおもちゃ箱(北杜夫)○哀歌(遠藤周作)○決闘者(宮本武蔵)○柴田三郎(○十七才の遺書(神田理沙)○日高川(有吉佐和子)○火野(船山馨)○無影(渡辺淳一)○剣と花(立原正秋)○燃えよ

剣(司馬遼太郎)○父尾崎士郎(尾崎一十郎)○求婚変行(田辺聖子)○霧のカルリア(五木寛之作品集)○愛をめぐる人生論(立原正秋)○けっぱれ落のとう(北方教育物語)○関瑞臣(○ねむの木の子どもたち(宮城まり子)○母にささげる詩おあさん第三集(高峰三枝子編)○マアコフスキー詩集(捕囚(阿部知二)○わが谷は緑なりき(ルウエリン)○アウト

サイダー(リチャードライト)○フリオ・フレントの遍歴(イリヤエレンブルグ)○マリリン(ノーマン・メイラー)○アフリカよー大旅行シリーズ(賀曾利隆)※実務・専門書 ○数理科学の世界(数学の新しい可能性(アメリカ数理科学研究委員会)○レリザードとメーザー(A・シャウロー)○JISにもとづく機械設計製図便覧(大西清著)○機械設計製

図(月刊工業新聞社)○海洋開発(ロバート・バートン)○中小住宅間取り一五〇選(池田昭三)○肩こりの話(加藤文雄)○各種通信教育ガイド(自由国民社)○出身県でわかる日本人診断(樋口清之)○おんなのれきし(もろさわ



配水池の築造

留萌の市街地計画は古く、明治二十二、三年ごろで、将来の港湾都市として、港と共に道路の開発は早くから計画があった。大留萌建設の一環として道路新設の計画がたてられたことも当然である。これは町勢の現況によって南十三条以北の新市街に施行したものである。大別して地方費道路および甲・乙・丙三種の道路も町営として施工した

留萌市史 大留萌の建設事業 生活基盤の整備に着手

交通網の整備から

留萌は水に関する限り、留萌川の運流によって、舟による交通の便の恩恵を除いては、各所からわき出る水の量、質ともに恵まれていなかった。とくに質の面から飲料水として適するものが少ない。往時から、コタン浜(現港北地区)には、適当な飲料水がなかったことから、栖原家の肝入りで、現在の市職員会館(港町三旧消防庁舎下)前の清水が泉によってあの中広な留萌川(現内港)を横断してつかわれていたことでも、よくわかるのである。

築港完成後、船舶用給水が必要

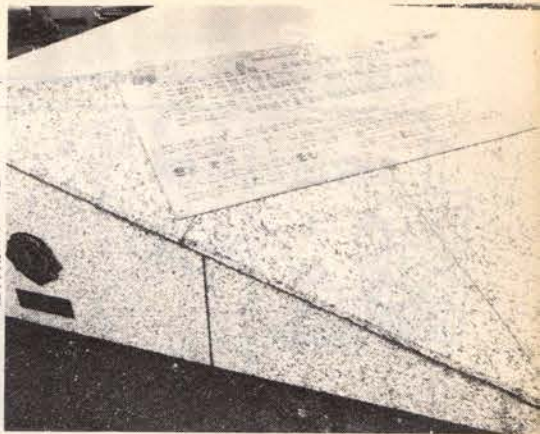
排水溝の整備

ととなり、この対策として、数箇所を試掘したが、ついに飲料水として適したものは発見できず下水道設置の必要に迫られた。もし、豊富な湧水などが飲料水に適したならば、下水道敷設に変化があったことであろう。

排水溝は新市街地域内の排水のために縦横に開さくしたもので、その敷巾一・四四、総延長は七千八百四に達する。はじめ排水は、留萌新川に放流しようとしたが、地形上その中の二条はこれを副港に流下させなければならなかった。そして、どれもその下流には土砂溜りを設けて、副港内に土砂の沈澱するのを予防したり、また留萌川に流下させる場合も、その吐口にコンクリート工料段を設け、堤防地の崩潰を防止するように計画された。

開運橋も鉄道橋と並行に

よって、橋梁は大きく変化を要求された。大留萌建設の土木工事の一環として、まず大通り南九条および南十四条の橋を留萌川横断個所に架設することになり、みな木造橋梁とした。なお、南九条橋は融雪期に流水がかさみ大正十三年中に流失したことがあったので、中央一連の橋脚を除き、上部を「トラス」形に補修した。そして大通橋とともに、全長間を三十三、中二・五ととした。南十四条橋はパンゴ部部落に通ずる橋で、これは簡易を主として架設した。その全長間は三十六、中一・五ととした。副港橋は、もと留萌川に架せられていた開運橋を、副港港口部に鉄道橋と並行の位置に移設したもので、その構造は、木造トラス三連とし、全長間四十七、中三・二ととした。



贈られた憲章碑

みなとライオンズ から憲章碑贈呈

留萌みなとライオンズクラブでは、さる八月五日、クラブ認証十周年記念を迎えましたが、この記念事業として、市公民館前に市民憲章碑と国旗掲揚塔、そして、峠下森林公園にエゾヤマサクラ一千本を市に贈呈されました。当日、原田市長の手で除幕された市民憲章碑は、従横二計の大大理石に、たて六十三、よこ一四十四の銅版に「海の資源や山の緑を大切に美し市に……」など五章が彫られています。永遠に市民の町づくりの目標として残る「市民憲章碑」を、市民みなさんとともに大切にしたいものです。



全道優勝した萌友チームナイン

《第2回少年野球で》 萌友チーム全道優勝

さる八月十一日から札幌市で開催された第二回全道少年野球大会に、留萌・北空知地区代表として出場した萌友チームは、全道十六地区から出場した強豪を相手に見事全道優勝を果し、深紅の若鷲旗を手に入れました。この萌友チームは、昨年も同大会で惜くも準優勝でしたが、今年こそは優勝を：相言葉に、滝島監督の指導で練習を重ね、全道優勝を飾ったのです。十六日、若鷲旗を手に入れた西田捕手を先頭に市内をパレード、盛んに沿道の市民から拍手が贈られました。

市役所前では、原田市長に優勝報告「おめでとう」と祝福の言葉を受けました。萌友チームは、留萌地区で優勝した後、深川市での留萌・空知地区大会で深川ヤングスターズを破り全道大会に出場、遠軽、紋別地区代表の滝上を11-4、千歳を4-2、準決勝では釧路を1-1の延長戦で破り、決勝では後志地区代表の蘭越と対戦、延長九回、佐藤右翼手のランニングホームランで勝利を手に入れました。

緑のおばさん ありがとう



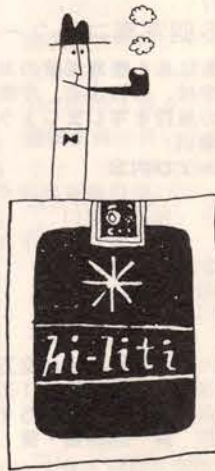
園児から花束を受ける指導員

「いつも私たちが交通事故から守ってくれてありがとう。夏の交通安全旬間のさ中の七月十九日も幼稚園に通園する園児たち二百四十名が、緑のおばさん(市婦人交通安全指導員)に、花束や感謝の作文が贈られました。これは、同園でつくられているチビツ子を守る母の会が主催して行なわれた交通安全教室の中で行なわれたのですが、花束を贈られた指導員の婦人も「こんなかわいい子供さんを交通戦争から守ることは、親として、人間としても

9月15日は敬老の日です



レゼントに嬉しさいっぱいでした。 思わぬプ



たばこは 留萌で買おう

あなたが毎日お吸いになるタバコは、留萌の町づくりに役立っています。タバコ消費税が還元されるからです。他市へお出かけの際でもタバコは留萌で買いまし